



**平成24年12月期
決算説明資料
(2012年度)**

**2013年2月14日
昭和シェル石油株式会社**

注意事項

この資料には、当社グループ(当社及び連結子会社)の将来についての計画や戦略、業績に関する予想、見通しの記述が含まれています。

これらの記述は、本資料の発表日現在における情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、経済情勢や市場動向、並びに為替レートの変動等の要因により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性がありますので、予めご了承下さい。

通期決算ハイライト

■ 原油価格と為替レート

| | | 2011年度 実績 | 2012年度 実績 |
|---------|-----------|--------------|--------------|
| ドバイ原油価格 | (USD/バレル) | 106.3 | 109.0 |
| 為替レート | (¥/USD) | 79.8 | 79.8 |
| | (¥/EUR) | 111.1 | 102.6 |

■ 連結損益計算書ハイライト

| (百万円) | 2011年度 実績 | 2012年度 実績 | 増減 | 前年同期比(%) |
|-------------|--------------|--------------|----------|----------|
| 売上高 | 2,771,418 | 2,629,261 | -142,156 | -5.1% |
| 営業利益 | 60,288 | 14,697 | -45,591 | -75.6% |
| 営業外損益 | 1,519 | -2,022 | -3,541 | - |
| 経常利益 | 61,807 | 12,674 | -49,132 | -79.5% |
| ※在庫影響 | 31,787 | 1,450 | -30,337 | -95.4% |
| ※CCSベース経常利益 | 30,020 | 11,224 | -18,795 | -62.6% |
| 特別損益 | -5,096 | -295 | 4,801 | - |
| 当期純利益 | 23,110 | 1,013 | -22,097 | -95.6% |

【注】カレント・コスト・オブ・サプライ(CCS)ベースの収益: たな卸資産の評価の影響を除いた原価を用いて算出する収益

セグメント情報

■ 平成24年度 通期

| (百万円) | 石油事業 | エネルギー ソリューション事業 | その他 | 調整額 | 合計 |
|-------|-----------|--------------------|--------|-----|-----------|
| 売上高 | 2,539,754 | 78,262 | 11,245 | - | 2,629,261 |
| 営業利益 | 28,128 | -15,435 | 2,031 | -27 | 14,697 |

■ 平成23年度 通期

| (百万円) | 石油事業 | エネルギー ソリューション事業 | その他 | 調整額 | 合計 |
|-------|-----------|--------------------|--------|------|-----------|
| 売上高 | 2,695,278 | 65,799 | 10,339 | - | 2,771,418 |
| 営業利益 | 87,267 | -28,895 | 2,056 | -138 | 60,288 |

- ・石油事業： 揮発油、ナフサ、灯油、軽油、重油、潤滑油、LPG、アスファルト、化成品等石油製品等の製造・販売
- ・エネルギーソリューション事業： 太陽電池モジュールの製造・販売及び電力の卸供給
- ・その他： 不動産、建設工事、自動車用品の販売及びリース業等

収益状況(通期)

- 平成24年通期連結累計業績は、売上高2兆6,292億円(前年同期比5.1%の減収)、経常利益126億円(同491億円の減益)となりました。また、たな卸資産評価の影響を除く実質経常利益(CCSベース経常利益)は112億円(同187億円の減益)となりました。
- 石油事業
 - ✓ 売上高2兆5,397億円(前年同期比5.8%の減収)、営業利益281億円(同591億円の減益)となりました。
 - ✓ 上半期(1-6月)、特に第2四半期(4-6月)の国内石油製品マージンが落ち込んだことにより、CCSベースの営業利益も、前年同期比で減益となりました。
- エネルギーソリューション事業
 - ✓ 売上高782億円(前年同期比18.9%の増収)、営業利益▲154億円(同134億円の損失減)となりました。第4四半期(10-12月)については、2010年に同セグメントを設定して以来、初の営業黒字となりました。
 - ✓ 同事業の中核である太陽電池事業については、厳しい事業環境が続きましたが、生産を中心に徹底したコスト削減を進めるとともに、より付加価値が得られる市場へ販売シフトするなど、収益性を改善させたことにより、前年同期比で営業損失は減少しました。
 - ✓ 電力事業については、堅調な需要を背景に、収益は安定的に推移しました。

事業概況(10-12月)

■ 石油事業

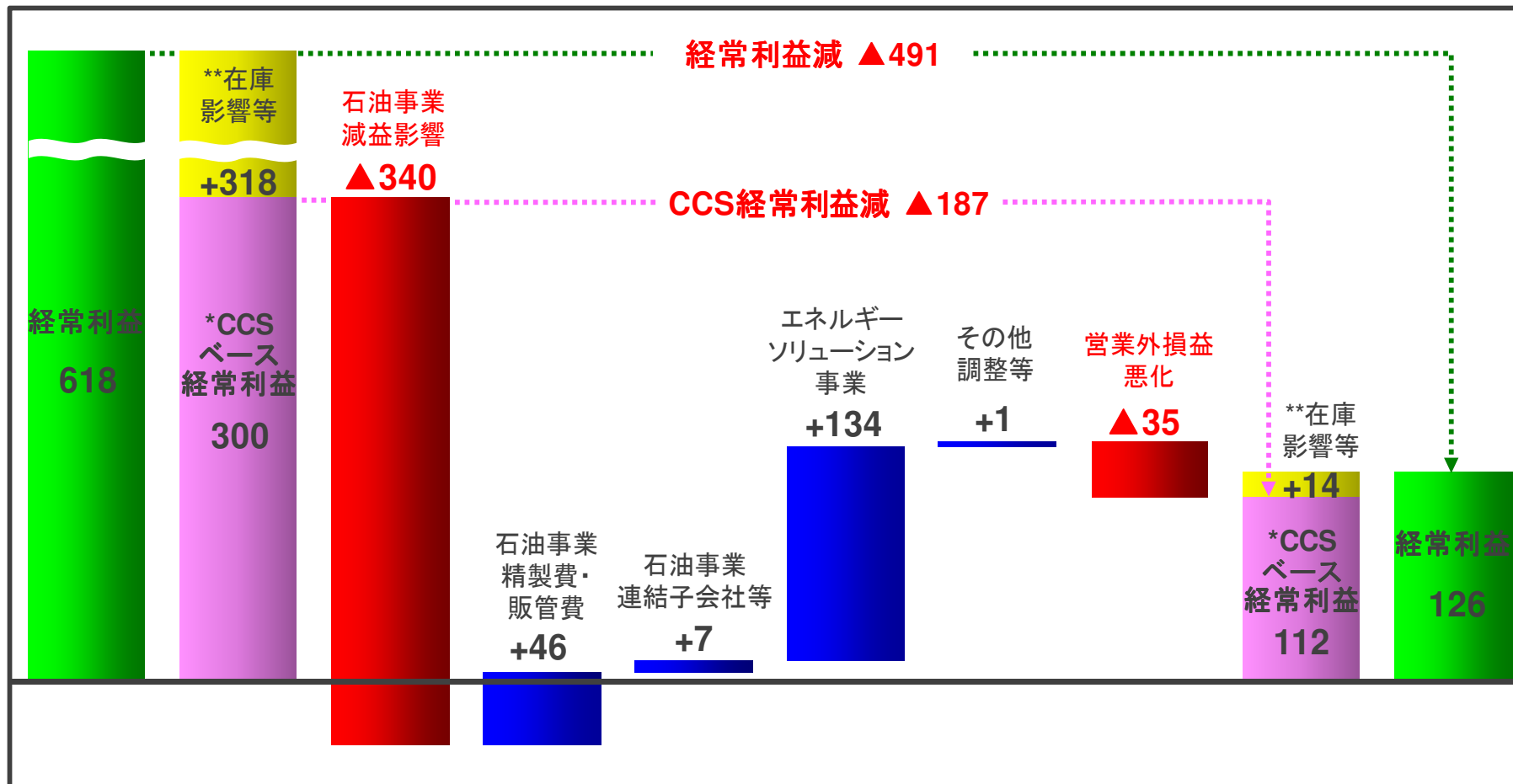
- ✓国内販売数量は全油種合計で前年同期を上回りました。特に、昨年より寒さの到来が早かったことなどから、灯油の数量が増加しました。また、販売強化を行った軽油やA重油も販売拡大しました。国内販売数量の増加にともない、輸出数量は減少しました。
- ✓第3四半期との比較においては、ガソリンや軽油のマージンは落ち込みましたが、灯油などのマージンが堅調であったこと、独自で実施したコスト削減の成果などにより、前年同期比ではCCSベースで大幅に増益となりました。

■ エネルギーソリューション事業(太陽電池事業)

- ✓主力の宮崎第3工場(国富工場)は、増加する国内向け製品出荷に対応する形で生産を行いました。生産されるパネル1枚あたりの平均出力も順調に向上しています。
- ✓販売については、再生可能エネルギー全量買取制度の導入による国内需要の増大を着実に取り込み、国内販売を大幅に拡大しました。また、資金調達から設計、機器調達、発電所運営、メンテナンスまでワンストップで提供できる、付加価値の高いサービスの整備も進めました。
- ✓住宅用販売についても、ブランドや実発電量の多さに対する市場認知を高める活動を行い、販売量を大幅に拡大しました。
- ✓パネル価格市況は国内外ともに引き続き下落傾向にありましたが、より収益性および成長性の高い国内の販売強化や原材料調達費をはじめとするコスト削減など、収益強化を図りました。

要因分析(通期)

(単位:億円)



2011年

2012年

* CCS: Current Cost of Supply (在庫評価の影響を除いたもの)
 ** 「在庫影響等」には、たな卸資産の簿価切下げによる影響を含む。

原油処理実績と燃料油販売数量実績(通期)

■ 原油処理実績と稼働率

| | | 2011年度 実績 | 2012年度 実績 |
|--------|-------|--------------|--------------|
| 原油処理実績 | (千KL) | 26,212 | 21,053 |
| 稼働率 | (%) | 93.2% | 91.6% |

■ 製品別販売数量

| (千KL) | 2011年度 実績 | 2012年度 実績 | 前年同期比 |
|--------|--------------|--------------|---------|
| 揮発油 | 9,494 | 9,060 | - 4.6% |
| ジェット燃料 | 2,077 | 2,158 | + 3.9% |
| 灯油 | 2,816 | 2,830 | + 0.5% |
| 軽油 | 4,952 | 4,999 | + 0.9% |
| A重油 | 1,610 | 1,634 | + 1.5% |
| C重油 | 1,769 | 1,928 | + 9.0% |
| その他 | 4,195 | 4,042 | - 3.7% |
| 国内販売合計 | 26,914 | 26,649 | - 1.0% |
| 輸出 | 3,548 | 574 | - 83.8% |
| 総合計 | 30,462 | 27,223 | - 10.6% |

平成25年12月期連結業績予想

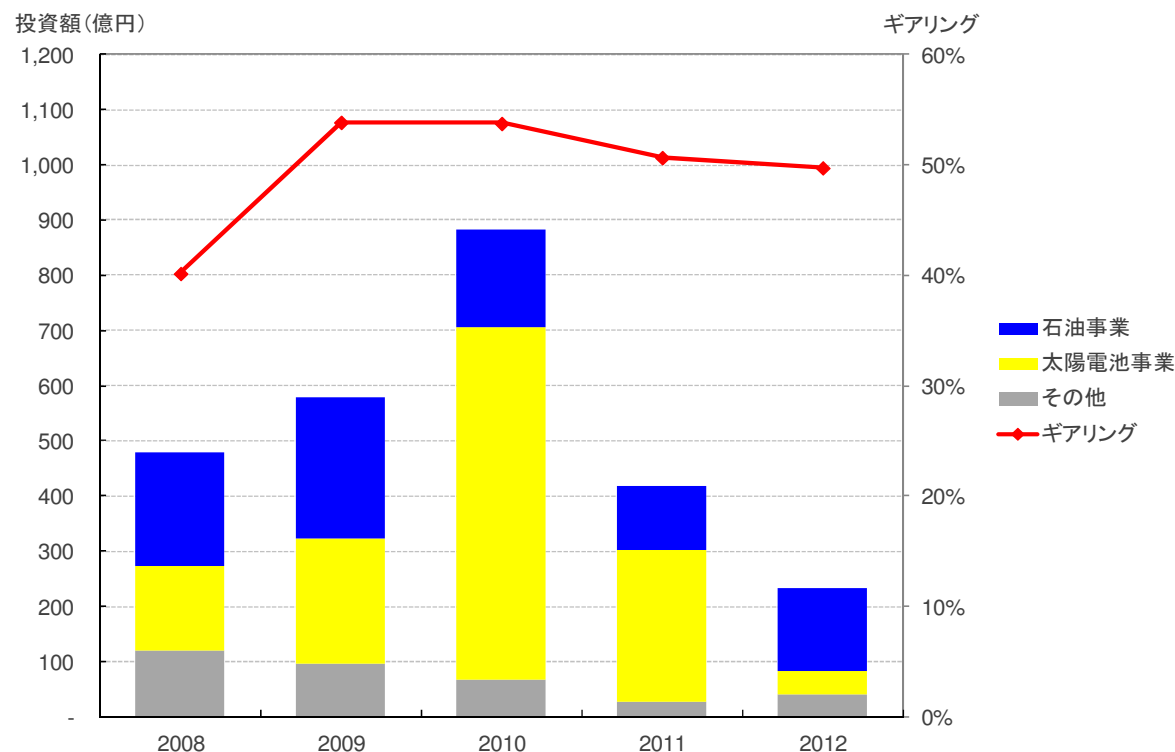
■ 原油価格と為替レート的前提

| | | 2012年度 実績 | 2013年度 予想 |
|---------|-----------|--------------|--------------|
| ドバイ原油価格 | (USD/バレル) | 109.0 | 106 |
| 為替レート | (¥/USD) | 79.8 | 84 |
| | (¥/EUR) | 102.6 | 110 |

■ 連結業績予想

| (百万円) | 2012年度 実績 | 2013年度 予想 |
|-------------|--------------|--------------|
| 売上高 | 2,629,261 | 2,710,000 |
| 営業利益 | 14,697 | 46,000 |
| 経常利益 | 12,674 | 45,000 |
| ※在庫影響 | 1,450 | 0 |
| ※CCSベース経常利益 | 11,224 | 45,000 |
| 当期純利益 | 1,013 | 26,000 |

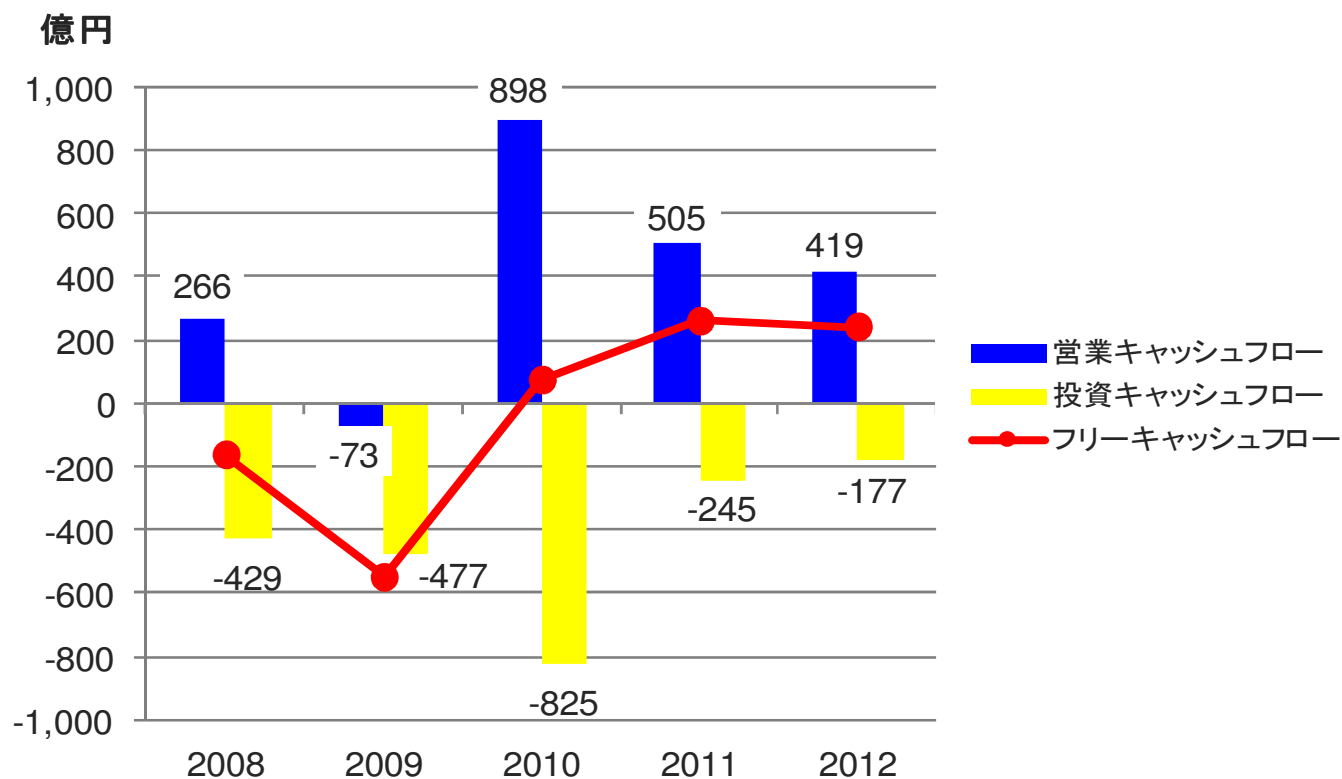
主要財務指標推移および投資額推移



| | 2008年 | 2009年 | 2010年 | 2011年 | 2012年 |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ギアリングレシオ | 40.2% | 53.9% | 53.8% | 50.7% | 49.8% |
| 株主資本比率 | 25.4% | 20.1% | 20.1% | 21.2% | 20.3% |
| 株主資本利益率(ROE) | - | - | 6.7% | 9.3% | 0.4% |

【注】: ギアリングレシオ ... (期末有利子負債ー現預金) / (使用資本ー現預金)
 株主資本利益率(ROE) ... 当期純利益 / 株主資本(当・前年度末の平均)

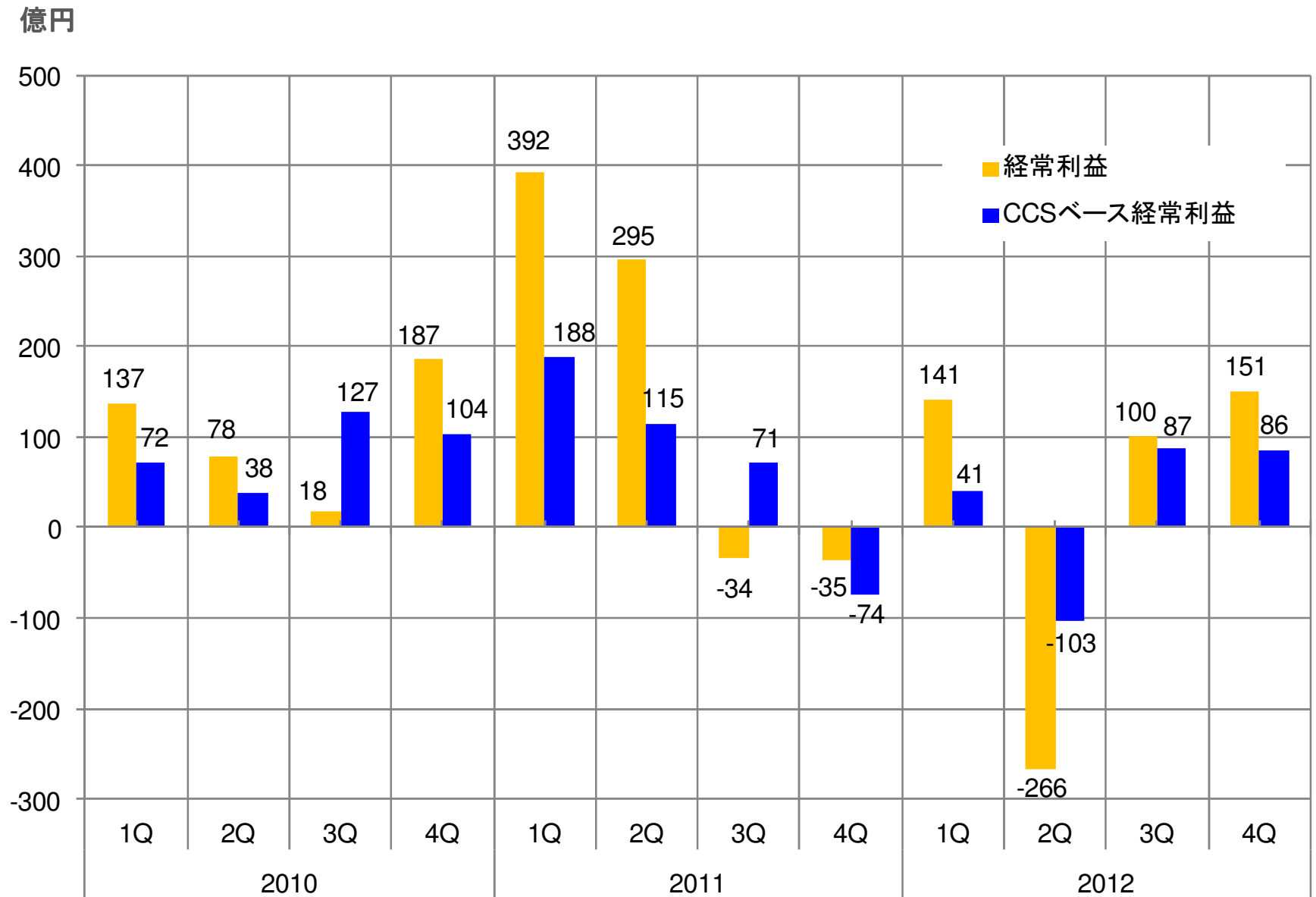
連結キャッシュフロー推移



| (百万円) | 2011年 | 2012年 | 増減 |
|------------------|---------|---------|---------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 50,551 | 41,922 | - 8,629 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | -24,560 | -17,747 | + 6,812 |
| フリー・キャッシュ・フロー | 25,991 | 24,175 | - 1,816 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | -31,159 | -21,391 | + 9,767 |

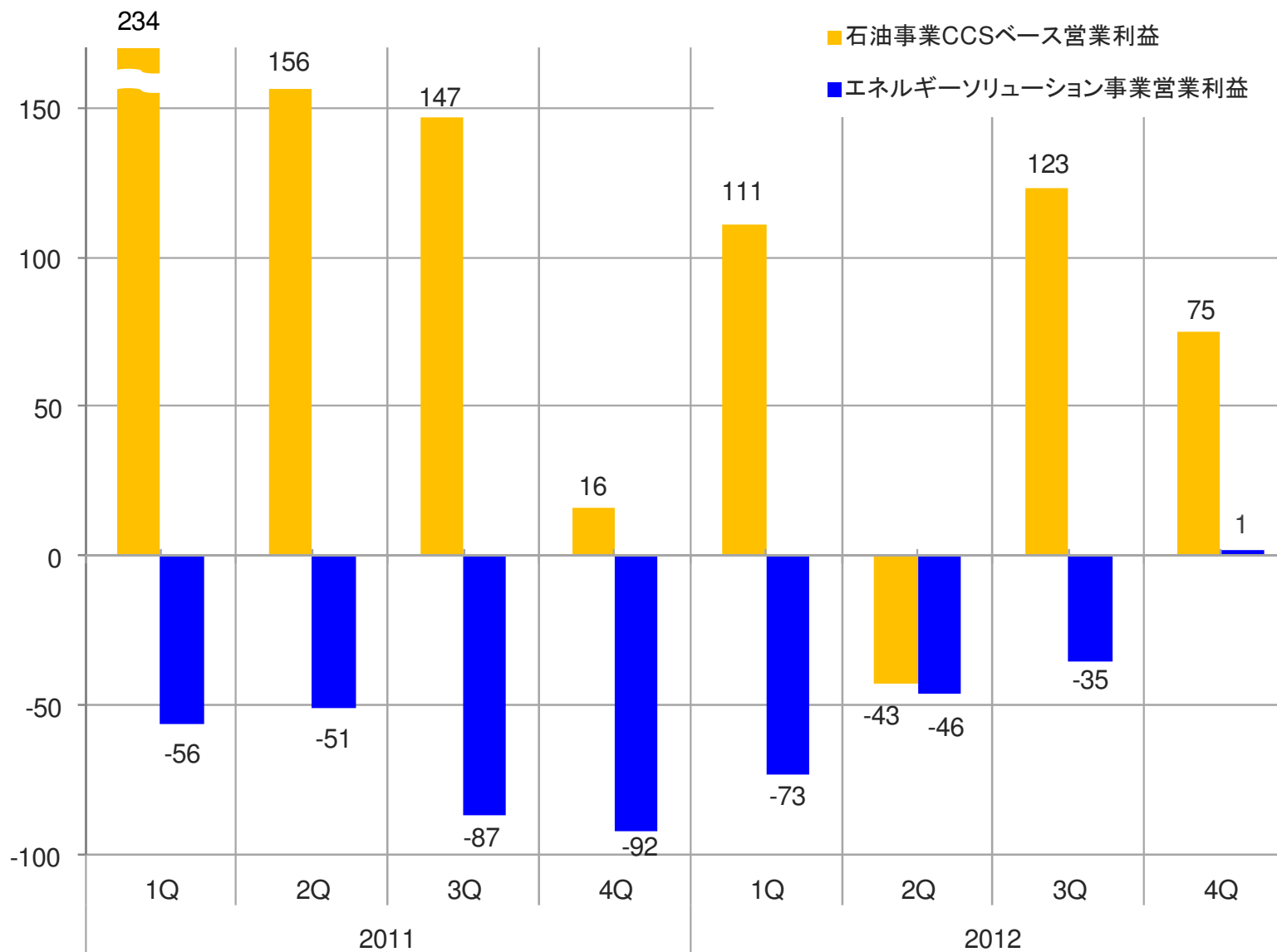
参考データ集

四半期別 経常利益の推移



四半期別セグメント別 営業利益の推移(CCSベース)

億円



決算ハイライト(10-12月)

■ 原油価格と為替レート

| | | 2011年度 10-12月実績 | 2012年度 10-12月実績 |
|---------|-----------|--------------------|--------------------|
| ドバイ原油価格 | (USD/バレル) | 106.5 | 107.5 |
| 為替レート | (¥/USD) | 77.4 | 81.1 |
| | (¥/EUR) | 104.3 | 105.1 |

■ 連結損益計算書ハイライト

| (百万円) | 2011年度 10-12月実績 | 2012年度 10-12月実績 | 増減 | 前年同期比(%) |
|-------------|--------------------|--------------------|--------|----------|
| 売上高 | 693,781 | 707,257 | 13,476 | +1.9% |
| 営業利益 | -3,300 | 14,988 | 18,289 | - |
| 営業外損益 | -271 | 118 | 390 | - |
| 経常利益 | -3,572 | 15,106 | 18,679 | - |
| ※在庫影響 | 3,891 | 6,441 | 2,550 | +65.5% |
| ※CCSベース経常利益 | -7,464 | 8,664 | 16,129 | - |
| 特別損益 | -8,100 | 363 | 8,464 | - |
| 当期純利益 | -9,404 | 10,111 | 19,516 | - |

【注】カレント・コスト・オブ・サプライ(CCS)ベースの収益: たな卸資産の評価の影響を除いた原価を用いて算出する収益

セグメント情報

■ 平成24年度 10-12月期

| (百万円) | 石油事業 | エネルギー ソリューション事業 | その他 | 調整額 | 合計 |
|-------|---------|--------------------|-------|-----|---------|
| 売上高 | 671,995 | 30,837 | 4,425 | - | 707,257 |
| 営業利益 | 14,013 | 196 | 790 | -11 | 14,988 |

■ 平成23年度 10-12月期

| (百万円) | 石油事業 | エネルギー ソリューション事業 | その他 | 調整額 | 合計 |
|-------|---------|--------------------|-------|------|---------|
| 売上高 | 663,241 | 27,555 | 2,984 | - | 693,781 |
| 営業利益 | 5,532 | -9,294 | 568 | -107 | -3,300 |

- ・石油事業： 揮発油、ナフサ、灯油、軽油、重油、潤滑油、LPG、アスファルト、化成品等石油製品等の製造・販売
- ・エネルギーソリューション事業： 太陽電池モジュールの製造・販売及び電力の卸供給
- ・その他： 不動産、建設工事、自動車用品の販売及びリース業等

原油処理実績と販売数量実績(10-12月)

■ 原油処理実績と稼働率

| | | 2011年度 10-12月実績 | 2012年度 10-12月実績 |
|--------|-------|--------------------|--------------------|
| 原油処理実績 | (千KL) | 5,769 | 5,750 |
| 稼働率 | (%) | 99.8% | 99.5% |

■ 製品別販売数量

| (千KL) | 2011年度 10-12月実績 | 2012年度 10-12月実績 | 前年同期比 |
|--------|--------------------|--------------------|---------|
| 揮発油 | 2,384 | 2,360 | - 1.0% |
| ジェット燃料 | 533 | 500 | - 6.2% |
| 灯油 | 906 | 994 | + 9.7% |
| 軽油 | 1,271 | 1,285 | + 1.2% |
| A重油 | 442 | 453 | + 2.5% |
| C重油 | 492 | 459 | - 6.6% |
| その他 | 1,056 | 1,093 | + 3.5% |
| 国内販売合計 | 7,083 | 7,145 | + 0.9% |
| 輸出 | 571 | 178 | - 68.9% |
| 総合計 | 7,654 | 7,322 | - 4.3% |

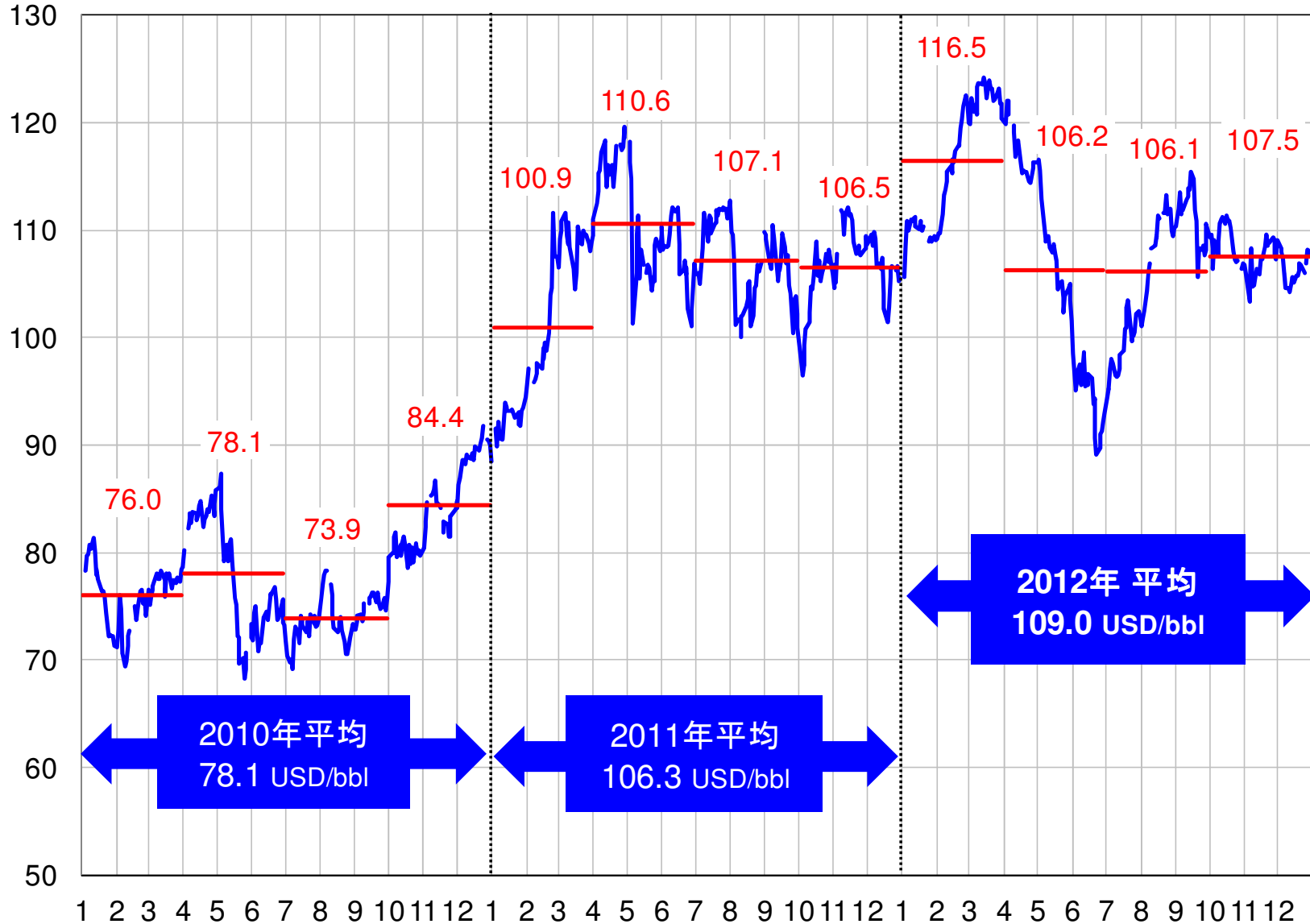
SS数推移

■ 固定式SS数とセルフSS数 ※12月末時点

| (ヶ所) | 2008年 | 2009年 | 2010年 | 2011年 | 2012年 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 固定式SS数 | 4,305 | 4,143 | 3,948 | 3,782 | 3,633 |
| セルフSS数 | 852 | 947 | 960 | 963 | 978 |
| セルフSS比率 | 19.8% | 22.9% | 24.3% | 25.5% | 26.9% |

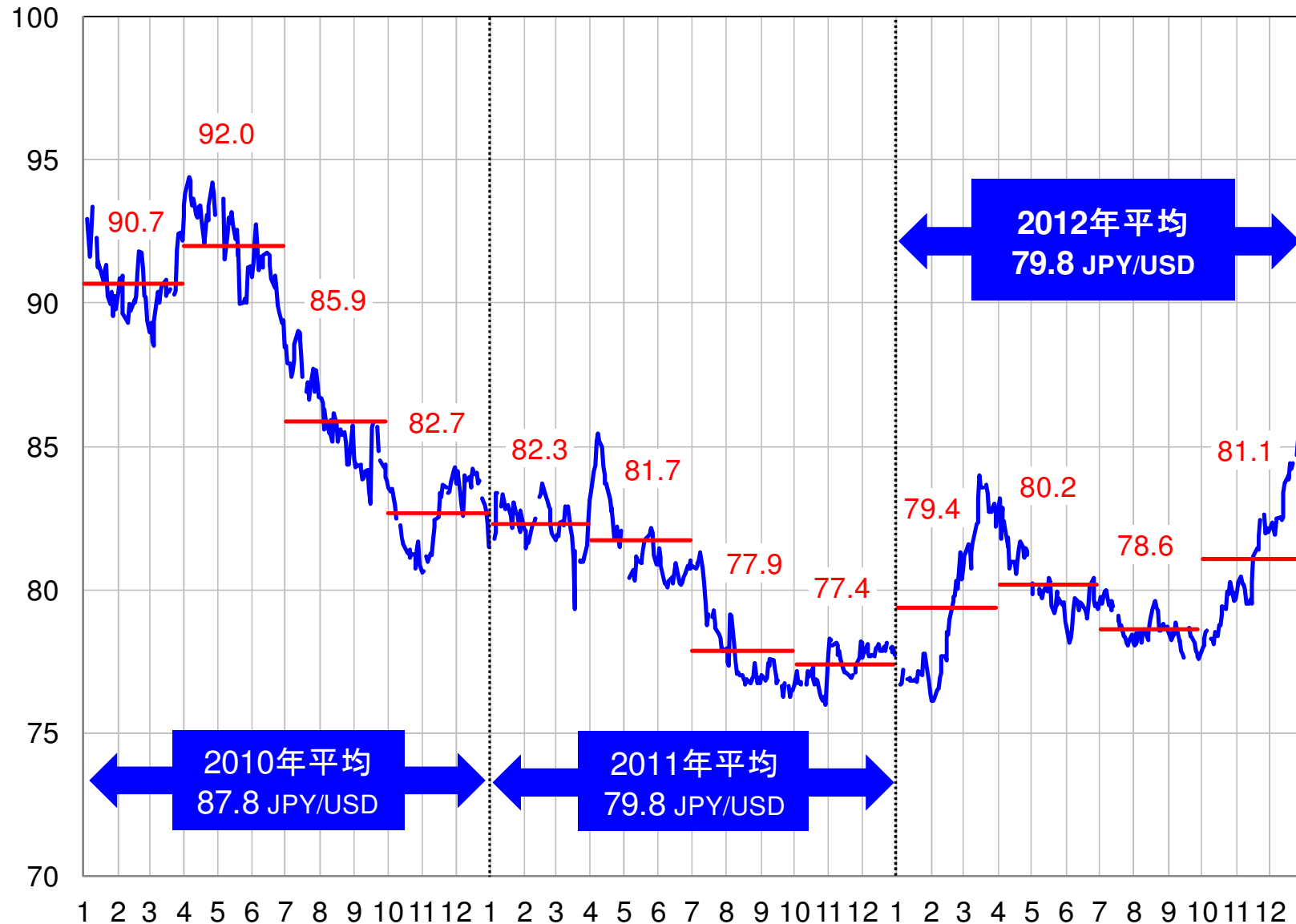
ドバイ原油価格の推移

(USD/bbl)



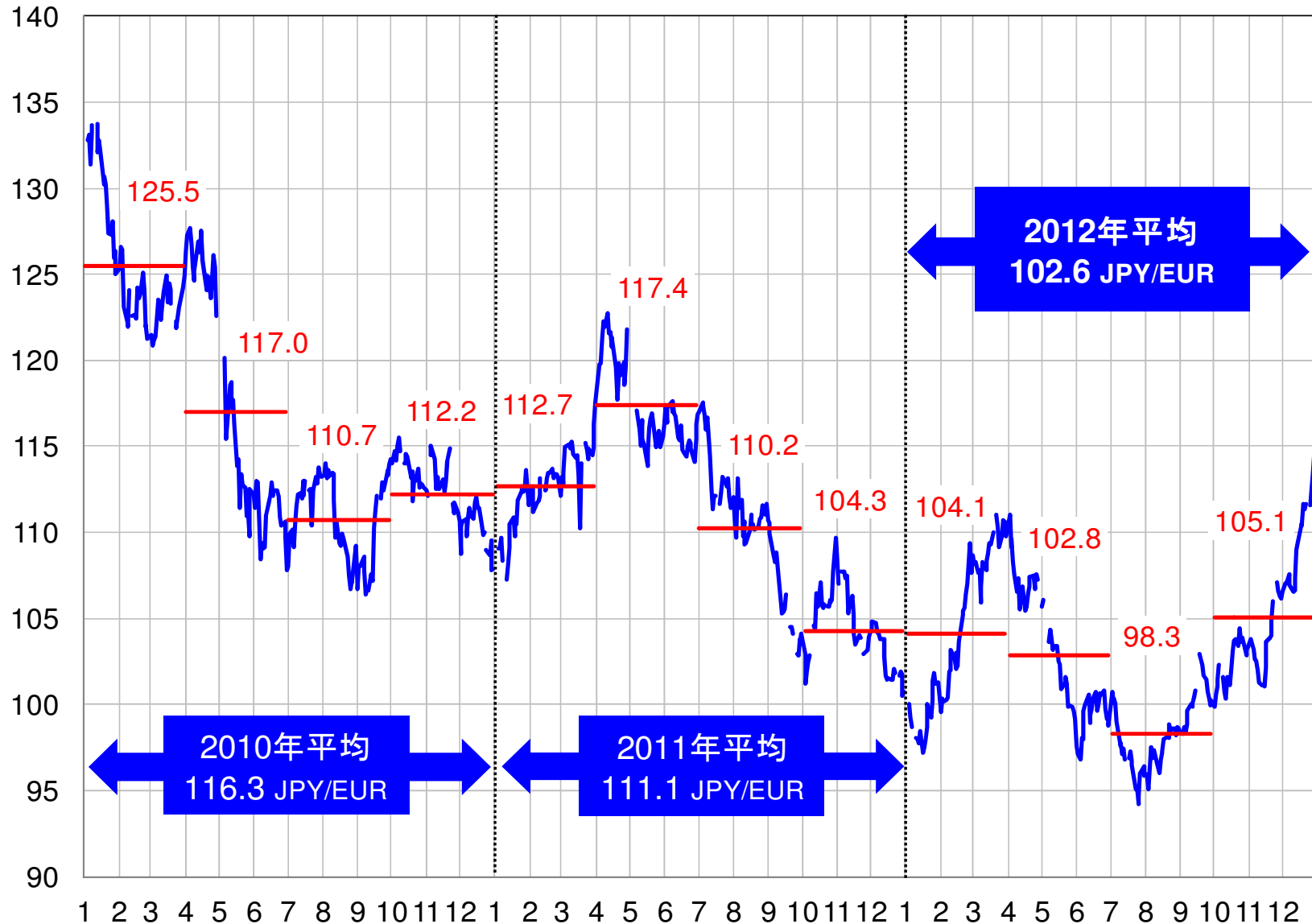
為替レートの推移(円/アメリカドル 仲値)

(JPY/USD)



為替レートの推移(円/ユーロ 仲値)

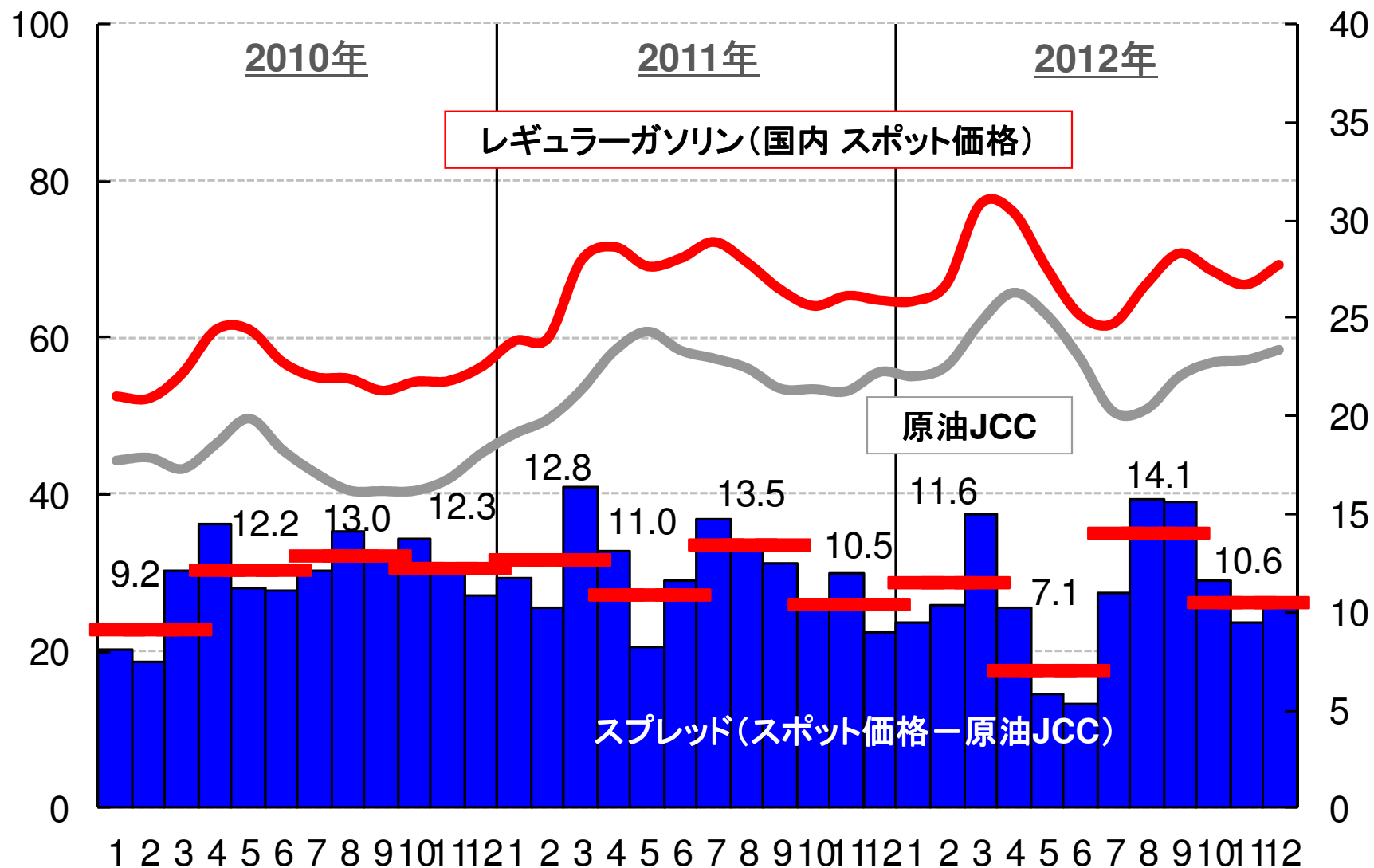
(JPY/EUR)



国内マーケットの状況①(ガソリン)

原油・製品価格 ¥/L

スプレッド ¥/L

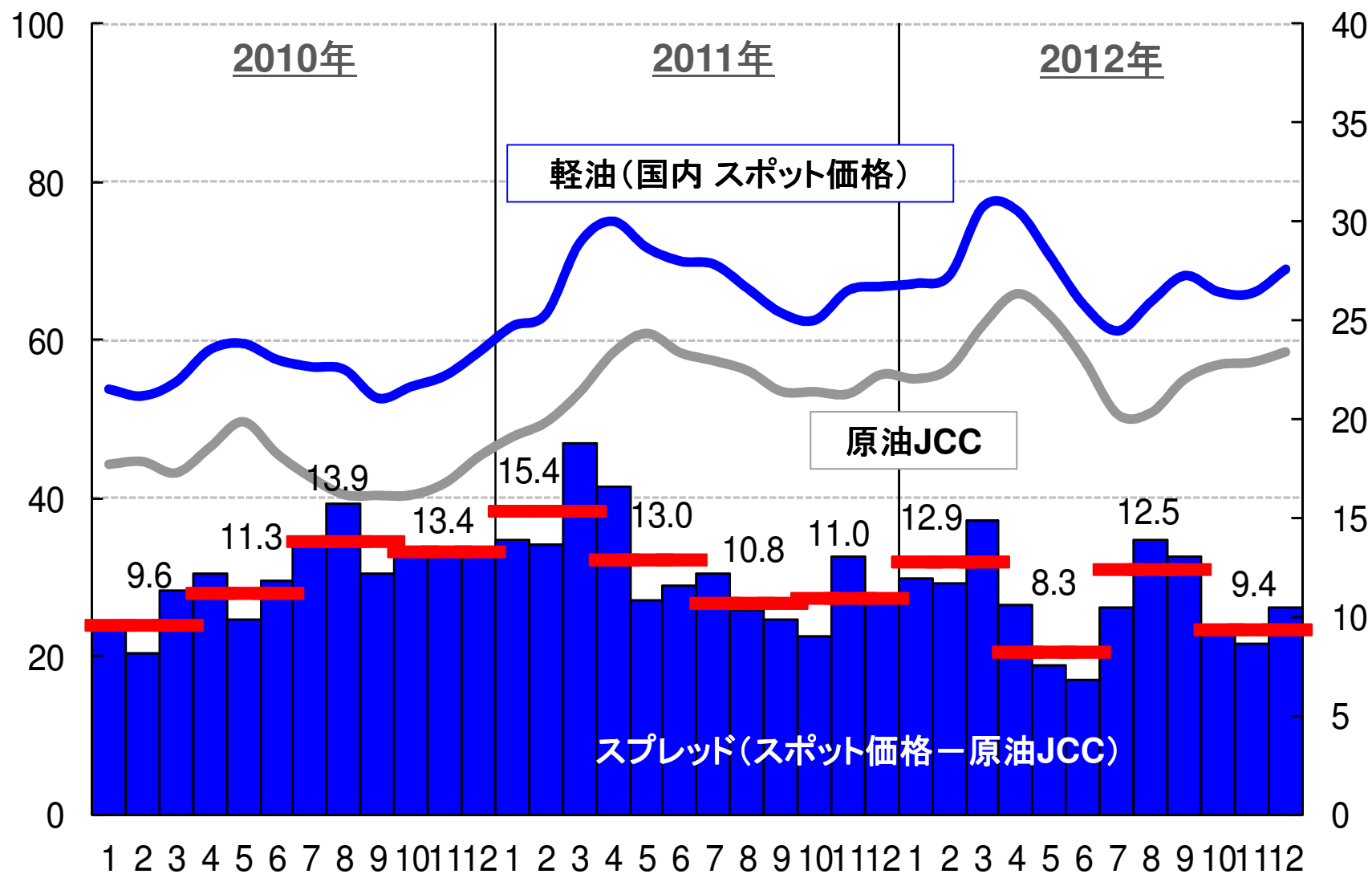


注記)原油JCC: Japan Crude Cocktail、日本国内に輸入される原油の月間加重平均入着(CIF)価格

国内マーケットの状況②(軽油)

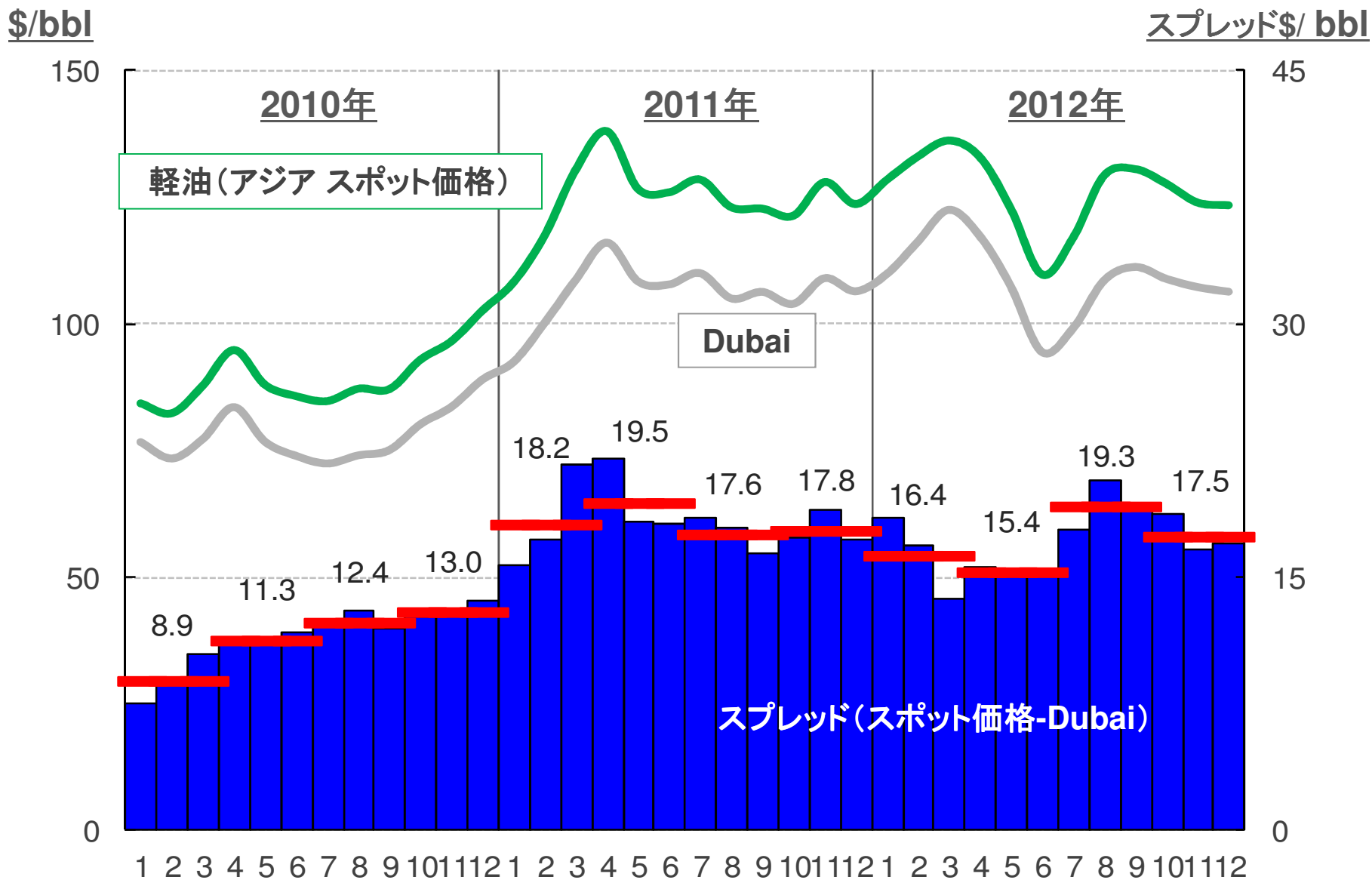
原油・製品価格 ¥/L

スプレッド ¥/L

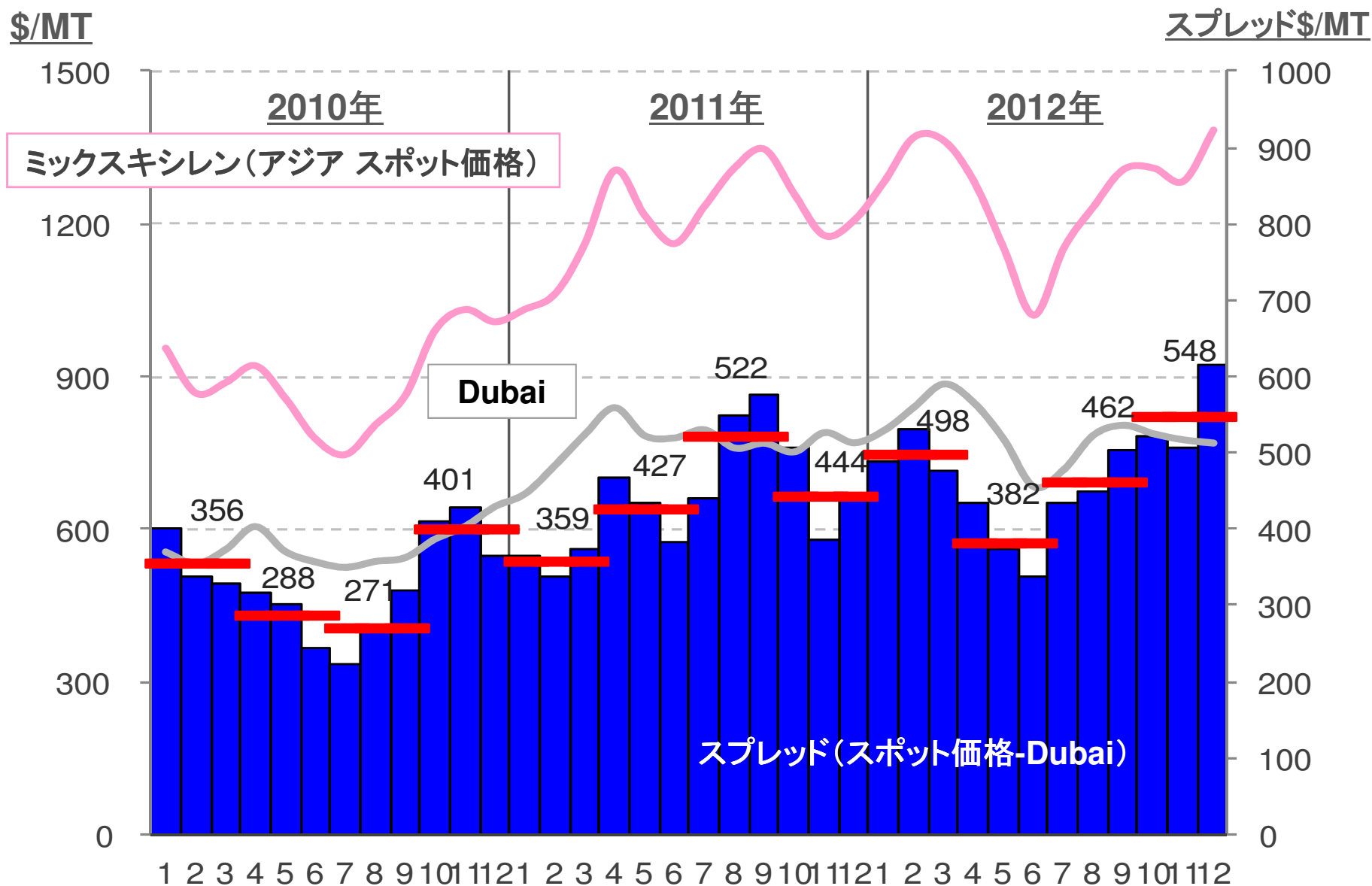


注記)原油JCC: Japan Crude Cocktail、日本国内に輸入される原油の月間加重平均入着(CIF)価格

海外マーケットの状況①(軽油)



海外マーケットの状況②(ミックスキシレン)



注記) Dubai: アジア向け中東産原油の基準となっているプラッツ社が発表するドバイ原油スポット価格

平成24年度第4四半期 ートピックスー

「扇島パワーステーション」3号機、建設決定【10月】

東京ガス株式会社と当社の出資による株式会社扇島パワーは、高効率の天然ガス火力発電所「扇島パワーステーション」の3号機を建設することについて決定しました。3号機は発電能力約40.7万kW、2016年3月までの運転開始を予定しており、1号機、2号機を合わせた扇島パワーステーションの発電能力は約122.1万kWに達します。当社は、太陽電池事業と並ぶエネルギーソリューション事業の柱として、電力事業を強化してまいります。



ソーラーフロンティア(株)、製造拠点を最先端の国富工場に集約【12月】

CIS薄膜太陽電池の旗艦工場であり最新鋭の設備を誇る宮崎第3工場(国富工場、年産能力900メガワット)の効率性が継続的に向上していることから、宮崎第2工場(年産能力60メガワット)における現製品の生産を2012年末に休止しました。国富工場への生産集約により、生産効率の更なる向上を図るとともに、第2工場については開発中の新型太陽電池モジュールの生産開始に向けた評価を行っています。

国内のメガソーラー向け受注が本格化【10-12月】

2012年7月から導入された再生可能エネルギーの全量買取制度を受けて、国内のメガソーラープロジェクト向けの製品受注・納品が本格化しました。これらの案件のうち、当社公表済みのものは右記の通りです。

| メガソーラー名 | 事業者 | 設置容量 | 発電開始(予定) |
|--------------------|--------------|--------|--------------------------------|
| 下水流(しもずる)発電所 | 出水ソーラー事業株式会社 | 約1MW | 2012年11月 |
| SOL de 平戸 下中野 | 株式会社チョープロ | 約1MW | 2012年12月 |
| 第2国富メガソーラー | 昭和シェル石油 | 約2MW | 2013年1月 |
| 相川プレス高根工場メガソーラー | 株式会社相川プレス工業 | 約1.8MW | 2013年3月末 |
| 伊勢二見メガソーラー光の街 | 三交不動産株式会社 | 約5.2MW | 第1発電所:2013年4月 第2発電所:2013年8月 |
| 【仮称】やまなしメガソーラー(甲斐) | 三井物産株式会社など | 約5.1MW | 2013年8月 |
| 【仮称】やまなしメガソーラー(韮崎) | 三井物産株式会社など | 約5.3MW | 2014年1月 |

